

香文化共生プロジェクト

代表者：文科 咲本英恵 プロジェクト構成員：教員 家政学部 田中淑江・文芸学部 岡田ひろみ・生活科学科 渡辺明日香
学生 家政学部被服学科「伝統和服制作実習Ⅰ」（2年次）・「伝統和服制作実習Ⅱ」（3年次）・「卒業論文・卒業制作」（4年次）履修者
文芸学部「日本文学演習ⅠB」（2年次）・「日本文学演習ⅡB」（3年次）履修者
生活科学科「卒業研究・卒業制作」「卒業ゼミナール」（2年次）履修者
文科「文学とことばのセミナー」（1年次）履修者・その他学生・研究科院生有志
協力 家政学部被服学科助手・佐藤綾香 文科助手・堀澤英・寺田海里

《プロジェクトの目的と概要》

2021年度地域連携プロジェクト「日本古典文学と香りから考える持続可能な社会」に引き続き、2022年度は、専門分野を異にする学生達の多角的視点や協働によって、日本の伝統文化である香文化に新たな価値を見出し、香りの伝統文化との「共生」のありかたを提案することを目的とした。このプロジェクトを通して、学生の主体性や協働する力、リーダーシップを高めることができた。

取り組み内容として、文学芸術・文化に関する本学の知的財産のほか、京都の香老舗・松栄堂による香文化についての講演や香体験教室を教材とした。2回の合同授業での講演会、2回のワークショップ、課外活動、教員と助手、学生とで協働で実施したミーティングや展示会準備等を通して得た知識・教養を用い、さまざまな香文化のありようを提示したり、「オリジナルの香り」作りに挑戦することができた。これらの成果は、7月と3月の展示会で広く一般公開を行った。

連携企業として、株式会社 松栄堂（京都市本社・お香の製造販売。創業300余年。東京日本橋をはじめ、全国各地に支店を持つ）のご協力により、講演会やワークショップを実施した。

《プロジェクト内容・結果》

◆2022年7月 合同授業：「古典文学と香文化」講演会の実施

株式会社松栄堂社長 畑正高氏にご講義をいただいた。香木の到来から平安時代に香りの文化が花開いてゆくこと、中世に香道が成立してゆくこと、先人たちの香りに対する思いなどを講義から学び、歴史や文学と香りの関係を知り、香りへの関心を深めることができた。



7月 畑正高氏講演会

◆2022年7月 合同展示：本館ロビーにて展示会の開催

①SDGs×香文化

家政学部被服学科「伝統和服制作実習Ⅱ」（3年次）・「卒業論文・卒業制作」（4年次）履修者
文科「文学とことばのセミナー」（1年次）履修者

②文学×七夕×香文化、七夕行事の今と昔

文芸学部「日本文学演習ⅠB」（2年次）「日本文学演習ⅡB」（3年次）履修者・文芸学研究科有志
文科「文学とことばのセミナー」（1年次）履修者

③浴衣雛型×香文化

生活科学科「卒業研究・卒業制作」「卒業ゼミナール」（2年次）履修者



7月合同展示



◆2021年10月 合同授業：「香木の香りを聞く」講演会&ワークショップの実施

株式会社松栄堂社長 畑正高氏により、貴重な香木の実物を見せていただきながら、聞香の方法をご教示いただいた。さらに、後半のワークショップでは、お線香や香木の香りを体験し、香文化の魅力を十分に理解する機会を得た。体験をとおして発見した〈お香〉の魅力をグループで共有し、意見交換しながら香文化を受け継ぐことの意味を考えることができた。



10月講演会&ワークショップ

◆2023年2月 合同授業：「匂い袋を作る」ワークショップの実施

株式会社松栄堂東京支店 企画事業部 福持 あゆ子氏の解説により、香料の種類やブレンド法について学び、香りのタブレットを組み合わせ、オリジナルの匂い袋を制作した。



◆2022年3月 本学2号館コミュニケーションギャラリーにてプロジェクト成果展示会の開催

①10月講演会&ワークショップのパネル制作

家政学部被服学科「伝統和服制作実習Ⅱ」（3年次）履修者
文芸学部「日本文学演習ⅠB」（2年次）履修者

②「古典文学と香り」のパネル制作

家政学部被服学科「伝統和服制作実習Ⅱ」（3年次）履修者
家政学研究科大学院生有志、文芸学研究科大学院生有志
文芸学部「日本文学演習ⅡB」（3年次）履修者

③「香の暦」の制作

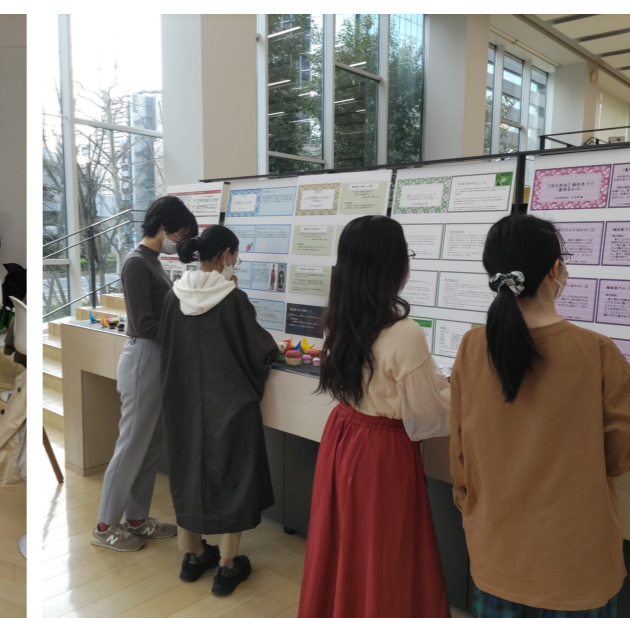
家政学部被服学科「伝統和服制作実習Ⅱ」（3年次）履修者
生活科学科「卒業研究・卒業制作」「卒業ゼミナール」（2年次）履修者

④「オリジナルの香り」の制作

家政学部被服学科「伝統和服制作実習Ⅰ・Ⅱ」（2・3年次）履修者
生活科学科「卒業研究・卒業制作」「卒業ゼミナール」（2年次）履修者
文科「文学とことばのセミナー」（1年次）履修者
文芸学部 文芸メディア専修（2年次）有志



3月ワークショップ



3月プロジェクト成果展示会

《取り組みの気づきと成果》

香文化について 香りは同じ場で共有してこそ楽しい。人と人との交流の大切さに改めて気づいた。香文化をとおして、昔の人が感じた感動を追体験できたような、不思議な感動を得た。

文化の継承に対する意識 これまで「文化」として意識してこなかった「香り」を、「文化」として意識し、関心を持てるようになった。伝統的なものを現代に採り入れることのおもしろさを知った。

多様な感覚・考え方・想像&創造力の共有 ワークショップや制作物への取り組みの過程で、同じ香りでも、感じ方、好みが多様であることを改めて実感した。香りを色や形に置き換えて表現するときのイメージをグループで共に考えることで、豊かなアイデアが生まれることが経験できた。

共立リーダーシップの涵養 学年や学部、科にとらわれず、協働をとおして誰もがチームのリーダーになれることを知った。チームワークのために、自律することの大切さを体験できた。



《謝辞》

本プロジェクトを行うにあたり、大変お世話になりました株式会社松栄堂社長 畑正高氏ならびに、スタッフの方々に厚く御礼申し上げます。